

松 風

「松風」(しょうふう)

特定医療法人 万成病院

〒700-0071 岡山市北区谷万成1-6-5

TEL(086)252-2261 FAX(086)254-0800

社会福祉法人 松風会

〒703-8275 岡山市中区門田屋敷4-5-13

TEL(086)273-1123 FAX(086)273-1314

第 200 号

平成24年2月1日発行
(毎月1日発行)

発行人 小林 建太郎

編集人 檜 原 伸 二

藪 野 きょう香

「生まれ変わるひまわり寮」

～新体系事業開設に向けて～

生活訓練施設 ひまわり寮
田淵 泰子

「新事業開設について」

ひまわり寮は、精神障害者社会復帰施設の生活訓練施設として長年運営して参りましたが、障害者自立支援法施行により、平成24年4月1日より新体系事業へ移行することとなりました。

生活訓練施設は「自立訓練夜間宿泊型事業」へ移行し、新たに通所事業所として「自立訓練(生活訓練)通所事業」と「就労継続支援B型事業所」を開設いたします。現在、地域の福祉拠点をめざした多機能型事業所としての最終開設準備を急ピッチで進めているところです。

◇予定プログラム◇

○「自立訓練事業所」

テーマ：コミュニケーション

「スピーチ」

「接遇マナー」

「料理教室」

「パソコン講座」

○「就労継続支援B型事業所」

テーマ：役割探し

「農業生産活動」

「パン作り」

「地域との協働作業」

「リサイクル活動」

「真に必要とされるサービス検証」

平成24年の新事業開設に向けて、施設長に就任した平成20年から約4年間かけて、スタッフ一同でプラン作りを行った。私達が提供してきた生活訓練施設のサービスの検証。障害者自立支援法下の福祉事業勉強会。当事者にとって必要とする福祉サービスとは何か?約100

人へのアンケート調査。行政やNPO法人へのヒアリング調査。先行移行事業所への視察。新体系事業プロジェクト会議等で話し合いを重ねました。

「施設が果たす地域移行の役割」

ひまわり寮では、生活技術訓練は勿論の事、対人コミュニケーションスキル援助や家族調整、就労援助、施設退所後の当事者を支える支援チームのコーディネーター等当事者の地域での自立生活を目指した包括的支援に取り組んでいます。

また、ひまわり寮を退所して自立生活をおくる当事者からのSOSへの介入や行政手続きの支援など利用者の相談支援は永続的な関わりとなっています。入所相談や見学は増加の一途を辿り、万成病院以外にも県内外の他機関からの入所が増加しています。ひまわり寮が長年実施してきた自立訓練サービスを継承できる「自立訓練夜間宿泊型事業」は精神障害者の社会復帰と地域定着に欠かせないサービスであると考え「自立訓練夜間宿泊型事業」を選択致しました。

「通所事業所を開設する理由」

岡山市北地域は、精神障害者の通所事業の空洞地域であり、当事者アンケート調査実施結果から、多くの当事者が通所事業や居場所の選択肢が少ない現実が浮き彫りとなりました。安らぎと憩いの居場所を提供したい。1人1人の持つ力を更にエンパワーメントし、自分らしい人生を歩む援助をしたい。

また、ひまわり寮は“地域との架け橋”をテーマに平成15年から地域交流イベント「ひまわりサロン」を開催し、今年で100回記念を迎えます。

ひまわりの新たな通所事業が、病院や施設との架け橋となり、地域コミュニティと地域活性化の発信基地となりたいというおもいで開設することと致しました。



「ノーマライゼーションの

街づくりをめざして」

地域交流イベント「ひまわりサロン」は、利用者さんとスタッフ、地域の方々とスクラムを組んで企画運営を行っています。公開型イベントでは、総勢350人集客の大型イベントとなり総動員数は約5000人となりました。この取り組みは、平成20年に「精神障害者自立支援活動賞リリー賞」を受賞。「ひまわりサロン」という出会いのスクエアが、今後も地域との絆を育んで、支え合い、学びあう街づくりに貢献できればと思います。

平成21年度からは、近隣の岡山市立京山中学校で「こころの病気を学ぶ授業」の取り組みが始まりました。

若い世代から精神疾患の正しい知識を学ぶことにより、障がいを持つ人達との共生について考え、心のバリアフリーの感性を育む機会を持ち、地域メンタルヘルス普及に役立てればと参加しています。授業は今年度で4回目となります。

これからも、地域交流イベント「ひまわりサロン」や「心の病気を学ぶ授業」等地域メンタルヘルス普及等の実績の集大成として、岡山市北地域の福祉拠点と地域活性化の発信基地として必要とされることをめざし、邁進します。今後共、皆様のご指導、ご支援をどうぞよろしくお願い致します。